

「グループ・プライベートクラウド向けクラウドサービス  
(AWS) の提供及び設計・構築等の支援の委託」

総合評価基準（加算方式）

日本郵政インフォメーションテクノロジー株式会社  
クラウドサービス本部

本総合評価基準は、「グループ・プライベートクラウド向けクラウドサービス（AWS）の提供及び設計・構築等の支援の委託」の仕様に基づいて定められた総合評価基準であり、評価の手続は次のとおりである。

なお、落札者が入札書と共に提出した提案書の内容は仕様書と同様に全て納入検査等の対象とする。

## 1 総則

- (1) 本件の入札説明書に定められた競争参加資格等の条件を全て満たす者から提出された提案書に対して評価を行う。
- (2) 提案書は、提案書作成要領に定められた様式及び記述項目を満たした上で、仕様書に定める要求要件をすべて満たしていなければならない。  
なお、一つでも仕様書に定める要求要件を満たしていない場合は、その後の評価は行わず、当該提案書を不合格とする。

## 2 評価方法

- (1) 本調達では、総合評価（加算方式）を用い、提案内容を評価した評価点及び入札価格を点数化した価格点の合計で得た数値のもっとも高いものを落札者とする。
- (2) 評価点
  - ア 評価は、別添「総合評価基準表」に基づいて評価する。
  - イ 必須要件を全て満たしている者は合格とし、必須要件のうち、ひとつでも満たさない項目がある者は不合格とする。
  - ウ 合格した者については、各評価要件に対して評価し、評価観点に応じて最高240点までの加点を与える。
  - エ 評価要件に対する、評価観点の重要度及び相対的評価結果に応じて与える加点の配点の配点基準は次のとおりである。

### 相対評価

相対評価結果	評価観点の重要度		
	最重要項目	重要項目	一般項目
	A	B	C
優れている	60	30	15
やや優れている	48	24	12
標準	36	18	9
やや劣っている	24	12	6
劣っている	12	6	3

(3) 総合評価の得点

- ア 入札価格に対する得点配分の割合は、全体の四分の一とする。
- イ 入札価格の評価方法については、次のとおりとする。  
入札価格の得点は、入札価格を予定価格で除して得た値を一から減じて得た値に入札価格に対する得点配分を乗じて得た値とする。
- ウ 性能等の評価方法については、次のとおりとする。
  - (ア) 評価の対象とする技術的要件については、当該調達の実施目的・内容に応じ、事務・事業上の必要性等の観点から評価項目を設定し、これを必須とする項目とそれ以外の項目とに区分する。
  - (イ) 必須とする項目については、項目毎に最低限の要求要件を示し、この要求要件を満たしていないものは不合格とし、要求要件以上の部分については評価に応じ得点を与える。
  - (ウ) 必須とする項目以外の項目については、項目毎に評価に応じ得点を与える。
  - (エ) 各評価項目に対する得点配分は、その必要度・重要度に応じて定める。
- エ 価格及び性能等に係る総合評価は、入札者の入札価格の得点に当該入札者の申込みに係る性能等の各評価項目の得点の合計を加えて得た数値をもつて行う。

## 総合評価基準表

## 1 必須要件

評価項目	評価観点	評価
仕様書 準拠要件	調達仕様書の全ての要件を理解し、もれなく準拠するように対応すること。また、それが確認できる資料の提示があること。	合格 又は 不合格

## 2 必須以外の要件

項番	評価項目	評価観点	重要度	配点
相対評価				
1	30 システム以上の利用システムが稼働する金融機関、官公庁における AWS を利用した IaaS 共通基盤環境の構築実績、及び設計、構築、試験フェーズでの支援実績	<p>30 システム以上の利用システムが稼働する金融機関、官公庁における AWS を利用した IaaS 共通基盤環境の構築実績、支援実績について、以下の観点で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計・構築・試験・サービスインまでの構築実績によるノウハウの蓄積</li> <li>・貴社の体制規模、役割（一次請け、二次請けであるか）、実行要員スキル（AWS 構築経験年数、保有資格、現在の在籍状況）、契約形態（請負、準委任）</li> <li>・構築したシステムの規模（IaaS 利用システム数）</li> <li>・セキュリティに関する設計で工夫した点（金融機関、官公庁でのセキュリティ要件を実現するために実装した方式、注意点など）</li> <li>・マルチアカウント、閉域接続の構築実績</li> <li>・設計書、手順書の作成・納品実績（作成した設計書、手順書等の具体的な内容、顧客への納品の有無など）</li> </ul> <p>以下の支援実績に関する観点は、上記 IaaS 共通基盤の構築とは別の実績でも可。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援したフェーズごとの支援内容、実施方法（AWS ベストプラクティスを採用しているか）</li> <li>・支援時の体制規模、要員スキル（AWS 構築経験年数、保有資格、現在の在籍状況）、役割（支援する顧客に対して中心的役割であるか）</li> <li>・工夫した点、苦勞した点、顧客からの評価</li> </ul>	A	60

項番	評価項目	評価観点	重要度	配点
相対評価				
2	要員スキル	仕様書「別紙 4 支援条件」で示した工程ごとの支援要員(候補者)において、以下の観点で評価する。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援要員の AWS 保有資格と稼働割合(具体的な支援体制、稼働割合は定量的に示すこと)</li> <li>・ AWS を前提とした設計・構築・保守の経験年数、具体的な実績</li> </ul>	A	60
3	AWS を前提とした CCoE の立ち上げを支援し、組成した実績	AWS を前提とした CCoE の立ち上げを支援し、組成した実績について、以下の観点で評価する。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ CCoE 立ち上げの実績案件数、案件ごとの支援内容</li> <li>・ CCoE 立ち上げによる具体的な効果(役割、責任範囲、権限などレベル感がわかる内容)</li> <li>・ 工夫した点、苦勞した点、顧客からの評価</li> </ul>	B	30
4	構築期間中の重要課題、問題に対する AWS を含めた解決の迅速化の提案	構築期間中の重要課題、問題に対する AWS を含めた解決の迅速化の提案について、以下の観点で評価する。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 迅速に解決・回答するための仕組み(AWS 本体とのかかわり方など)</li> <li>・ 主管担当とのコミュニケーション・ロスを防止する機能(やり取り実績の蓄積方法)</li> <li>・ SLA の定義</li> </ul>	B	30
5	払い出しの自動化など AWS サービスを利用した運用自動化の実績	払い出しの自動化など AWS サービスを利用した運用自動化の実績について、以下の観点で評価する。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IaaS の運用・保守における品質確保もしくは効率化を目的とした作業の自動化を実装した内容及び方式</li> <li>・ 今回の調達仕様に適した自動化の提案</li> <li>・ Infrastructure as Code(IaC)の考え方に基づいた自動化実績</li> </ul>	B	30

項番	評価項目	評価観点	重要度	配点
相対評価				
6	AWS サービスの操作方法（マニュアル整備等）に関する工夫・実績	AWS サービスの操作方法（マニュアル整備等）に関する工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績について、以下の観点で評価する。</li> <li>・AWS の操作経験が少ない要員でも容易に操作を可能とするためのマニュアル整備等による工夫した実績もしくは提案</li> </ul>	C	15
7	その他、有益な提案	その他、有益な提案について、以下の観点で評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託内容に関する有益な提案（コスト最適化、支援実施方法、効率的な運用・保守、支払/請求の効率化、要員育成プログラム、マイグレーションなど）</li> </ul>	C	15
総合評価配点合計			240点	